

調査結果概要版 「松本城と市役所の現地再建」



調査者松本市島内 6595
山崎たつえ

この調査は市民団体から「市役所現地建設について調査してほしい」と依頼されたものである。当時、筆者は「現地建設でも仕方がない」と考えていた。市役所建設は様々な角度から調査されなければならないが市役所が松本城の側にあるので、城の事を、まず、調べる事にした。城の事は全く無知で、松本城の本は一冊も読んだ事がなかった。なお、筆者は調査する場合「無心

の心で、利害関係などは全く考えない」で調査する。次の様な調査結果となった。(上の図は松本市ホームページ「松本市都市計画」より引用)



お城の市民生活に及ぼす影響を見た。「商都松本は城で持つ」「松本城は宝物」と昔から言われているが、その通りだった。松本市の過去40年の観光客数をみた時、上高地など主要観光地の中で松本城のみ一貫して80万人前後の観光客が入場していた。



お城が今あるのは市民により守られてきたからである。明治維新時、旧物破壊の風潮が広まった。松本城は競売にかけられ、取壊される寸前であったが、市川量造らの努力により取壊される事なく済んだ。その後も多くの人々の努力により維持保存され続けられており、今も、城南、西外堀の改修事業が行われている。



ところで、**松本市役所が現在地に再建**されるという。現在地はどんなところかを調べた。特記すべきは、**唯一、惣堀が残っている場所**である。又、**松本城郭の「三の丸」**にあり、**城にとって非常に大切な場所に建てられていた**。太鼓門の玄関口であり、一番大きな馬出があり、高級武士が住んでいた一等地であった。武士を教育する学校もあった。現在移転が進められている**城南、西外堀に匹敵する場所**である。



三の丸に**松本市役所**が建設されたのは昭和 34 年、**今から 58 年前**の事。

城南、西外堀地籍の埋立は明治維新時からなので、同地区の人は **140 年前**から住んでいる人もいます。市役所のある場所は城南・西外堀に匹敵する場所である。「**遺跡保存の為**」との理由で「**城南、西外堀地籍の人は退去、市役所はそこに居座り再建**」という。

市役所の現地再建に至った経過について市民タイムス(29.6.6)は「市が現在地での建て替えを優先した背景には建設場所を巡って市を二分した苦い経験がある」と報道している(主要人物からの情報として同様の情報入る)。

城南、西外堀の住民も移転に「大騒ぎ」らしく 5 年経過しても収容率は 48.5%、(29.9 松本市建設部調)である。「城南、西外堀住民には大騒ぎをさせても、市役所建設には波風立てずなのか」とは市民の声。

現在の遺跡保存の計画は平成 11 年に制定された「松本城並びにその周辺計画」により進められている。同計画には「**松本城を幕末維新期の姿によみがえらせる。三の丸**については「整備する事によって**松本城の全貌が理解できる貴重な場所**である」と記されている。



4) 平成 29 年 9 月松本市・「松本城を世界遺産に…」推進実行委員会は世界遺産登録にかかわる国の委員をお招きして会議を開いた。同会議で委員から「**松本城は城郭全体の意味を考えるべき**」との声も出たと新聞は報じていた。

以上が無心の心で調査した結果である。私もこのような結果になるとは予想していなかった。**松本城の歴史を熟知していなかったから**である。多くの市民は松本城について熟知していないと思う。行政は、熟知しているはずなので、松本市の発祥の地「松本城」について市民に、しっかり知らせ、市民にも松本市役所**建設の位置**について考えて頂く事が必要ではないか。

終わりに、文献から松本城は**石川数正親子**の存在なくしては建てられなかった。松本の人々は、とりわけ、石川親子に思いを馳せなければならないのではないかと思う。

最後に、この様なテーマを依頼して下さった団体関係者の皆さまに感謝したい。2 週間という短期間の調査であったが、私も多くの事を学ばせて頂いた。又、資料収集にご協力頂いた松本市関係課の皆様、松本城管理事務所、文書館、松本図書館の皆様、世界遺産の調査に協力頂いた市町村の皆様心から感謝いたします。ありがとうございました。

★誤字脱字がありましたらお許し下さい。又、ご意見がありましたら下記まで連絡をお願いします。

この概要書は山崎たつえの調査レポートより作成。調査レポートは 12 頁にのぼる。希望者は 390-0851 松本市島内 6595 山崎たつえ 0263-47-2698/090-9666-9113 まで (コピー代、郵送料必要)。

調査者山崎たつえ履歴…1940(S15)誕生・松本蟻ヶ崎、長野県立短大、放大卒、新潟大学大学院修士修了・長野県職員・高校教師・2007~2015 市議会議員 著書・論文—1965 日本栄養改善学会・学会賞受賞/『母が語る子育て論』明治図書出版/スウェーデンへの旅 2004/『おびえる妻たち』2006 郷土出版/2010『市議会議員は見た』アットワークス社他 29.9.30